

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	関東リハビリテーション専門学校
設置者名	学校法人 都築学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数	省令で定める基準単位数	配置困難
専門課程 (医療関係)	理学療法学科 (3年制)	夜・通信	10	10	
	作業療法学科 (3年制)	夜・通信	10	10	
	作業療法学科 (3年制)	夜・通信	7	6	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

HPにて公表 https://www.kanreha.ac.jp/pt/about/ https://www.kanreha.ac.jp/ot/about/	理学療法学科 作業療法学科
--	------------------

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	関東リハビリテーション専門学校
設置者名	学校法人 都築学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

HPにて役員名簿を公開している https://www.kanreha.ac.jp/guide/publish-information/
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社取締役	R6.6.23 ~ 令和11年度 の定時評議 委員会終結 の時まで	法人の運営体制の チェック機能
非常勤	神職		法人の運営体制の チェック機能
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	関東リハビリテーション専門学校
設置者名	学校法人 都築学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 理学療法学科・昼間部(3年制)、作業療法学科・昼間部(3年制) 作業療法学科・夜間部(3年制)</p> <p>【作成過程】 各授業科目については、校内会議により授業科目の設定・講義内容の検討に基づき、各授業担当教員により作成を行っている。</p> <p>① 科目に対する到達目標を決定 ② 限られたコマ数に、項目と教育内容を決定 ③ 講義の概要と授業方式を決定</p> <p>【作成・公表時期】 授業計画は担当教員が作成し、シラバスをHP上に公開する。</p> <p>① 前期及び通年科目は2月作成・3月公表 ② 後期科目は8月作成・9月公表</p>	
授業計画書の公表方法	HPに公表 https://www.kanreha.ac.jp/pt/about/ 理学療法学科 https://www.kanreha.ac.jp/ot/about/ 作業療法学科
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>学則において、学内の成績評価、履修、進級及び卒業認定を規定している。 学則第18条(授業科目の成績評価) 学則第19条(進級及び卒業の認定)</p> <p>1 各科目の終了時に定期試験を実施し、60点以上を合格としている。なお、定期試験の受験には、科目に対する定められた出席率が必要となる。 (理学・作業療法学科(昼間):8割以上、作業療法学科(夜間):7割以上)</p> <p>2 履修認定については、各学年終了前に実施する進級判定会議及び卒業判定会議において厳正に実施している。</p>	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学則 18 条（授業科目の成績評価）に基づき成績評価を行っている。 定期試験の成績により、80 点以上をA(優)、70 点以上 80 点未満をB(良)、60 点以上 70 点未満をC(可)とし、60 点未満はD(不合格)とする。 ・学科毎に履修科目の成績評価を点数化し、全科目の合計点の平均を算出している。(100 点満点) 	
<p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p>	<p>HPに公表 https://www.kanreha.ac.jp/guide/publish-information/</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>ディプロマ・ポリシーとして以下の4項目を定めている。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 他人を尊重し社会的弱者に対しても理解するように考える事が出来る人 ② 医療/リハビリ現場で他職域と連携し適切に能力を発揮できる人 ③ 知識技術だけではなく、利用者の気持ちに寄り添う心の通った対応が出来る人 ④ 社会人として、医療人として常に自覚と向上心を持って行動できる人 <p>卒業に際しては、上記の修得と全科目の定期試験合格を要件として、卒業判定会議において卒業認定を実施している。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>HPに公表 https://www.kanreha.ac.jp/guide/publish-information/HPに公表 https://www.kanreha.ac.jp/guide/publish-information/</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	関東リハビリテーション専門学校
設置者名	学校法人 都築学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	HPに公表 https://www.kanreha.ac.jp/guide/publish-information/
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	同上
事業報告書	同上
監事による監査報告（書）	同上

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療関係		専門課程	理学療法学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	114	64	9	41		
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人		72人	0人	6人	7人	13人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳正かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳正かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳正かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 随時、担任教員等による相談、個別面談、進路指導等を実施し、積極的に学修支援を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
29人 (100%)	0人 (%)	17人 (%)	12人 (%)
（主な就職、業界等）病院、クリニック等			
（就職指導内容）就職セミナー、個別面談等			
（主な学修成果（資格・検定等））			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
79人	8人	10.1%
（中途退学の主な理由） 学習意欲の低下、進路変更、除籍処分		
（中退防止・中退者支援のための取組） 個人面談による相談受け		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療関係		専門課程	作業療法学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	127	70.5	13	43.5		
学生総定員数	学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
60人	14人	0人	6人	11人	17人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳正かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳正かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳正かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 随時、担任教員等による相談、個別面談、進路指導等を実施し、積極的に学修支援を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0人 (100%)	0人 ()%	0人 ()%	0人 ()%
(主な就職、業界等) 病院、クリニック等) 2025年度開講、3年制のため実績なし			
(就職指導内容) 個別面談等			
(主な学修成果 (資格・検定等))			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0人	0人	0.0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個人面談による相談受け		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療関係		専門課程	作業療法学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	夜	127	70.5	13	43.5		
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		17人	0人	6人	13人	19人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳正かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳正かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳正かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 随時、担任教員等による相談、個別面談、進路指導等を実施し、積極的に学修支援を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
13人 (100%)	0人 (%)	7人 (%)	6人 (%)
（主な就職、業界等） 病院等			
（就職指導内容） 就職セミナー、個別面談等			
（主な学修成果（資格・検定等）） 福祉住環境コーディネーター（3級、2級）、日本スポーツリハビリテーション学会認定トレーナー、健康ゲーム指導士、救命技能検定			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
20人	3人	15.0%
（中途退学の主な理由） 学業意欲の低下、学力不振、病気		
（中退防止・中退者支援のための取組） 個人面談による相談受け		

②学校単位の情報

a) 「学生納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
理学療法学科	300,000円	900,000円	600,000円	
作業療法学科 (昼)	300,000円	900,000円	600,000円	
作業療法学科 (夜)	300,000円	800,000円	500,000円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				
特待生制度 (指定校推薦、高校推薦、早期 A0) : 入学金、授業料の一部免除				

b) 学校評価

自己点検評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 前年度評価について、学校HPに公表 https://www.kanreha.ac.jp/guide/publish-information/		
第三者評価の基本方針 (実施方法・体制) 主な評価項目は、教育活動・学修成果等であり、評価委員の構成は、部外者4名で委員会を年数回開催し、自己評価結果についての意見・助言を求め、改善に努める。		
第三者評価の委員		
所属	任期	種別
病院	R7.4.1~R9.3.31	理学療法士
病院	R7.4.1~R9.3.31	理学療法士
老人保健施設	R7.4.1~R9.3.31	作業療法士、卒業生
老人保健施設	R7.4.1~R9.3.31	作業療法士、卒業生
第三者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.kanreha.ac.jp/guide/publish-information/		
(備考)		
リハビリテーション教育評価機構の審査を5年に1度受査している。		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.kanreha.ac.jp/
--